

ふれあい

第 17 号



平成 26 年 12 月 25 日

十日町市身体障がい者福祉センター

(今回の題字は金沢弘一さんです)

十日町市身体障がい者福祉センター初めての活動 「花いっぱい、夢いっぱい事業」始めました！！



今年度より、社会適応訓練として「花いっぱい、夢いっぱい事業」を開設しました。

この事業は、施設環境を活かした植物や園芸・農芸作業を行ない、環境整備とともに、利用者の健康回復や維持増進、生活の質の向上を目的としています。この事業を通じて人間の本来持っている素朴な感情を取り戻すことで福祉の充実に寄与します。

5月・6月の教養娯楽活動



8・9月の創作活動

花いっぱい・夢いっぱい事業

花の種まきから花壇への移植までを利用者の皆さんが体験をしました。手際が良くテキパキと・・・慣れていきます！！



生け花創作

花壇で育てた花を使い、初めての生け花に挑戦！！花器や花瓶を使い利用者の皆さんが自由に生けました



素敵なお花壇の出来上がり



..... 生け花作品

生け花創作を通じて季節折々の花を親しんで、楽しみながら教養を高める事が目的です。個性豊かな色とりどりの花々が目を引き、完成度の高さに職員一同圧巻。どれも素晴らしい作品に！！皆さんの隠された才能が開花されました。❀



..... おもちやカボチャの創作



グリーンカーテンとして育てたおもちやカボチャを、各曜日の利用者さんでアイディアを出し合い自由に創作しました。フェルト生地目や鼻を貼り、ハギレで帽子を作ったりと当センターにある物で「カボチャファミリー」の出来上がり！

平成26年度全国・県主催の美術展

当センターでは創作・学習活動等を通じて、生きがいをづくりや社会参加への取り組みを積極的に行っています。そしてこれら活動の発表の機会として、各種美術展などに応募しています。お陰様で毎年のように上位入賞し、当センターは地域の優秀な文化団体として知られるようになり、本年もNPO・TASCの奨励団体としてご支援いただいています。

今年度も多数の皆さんが受賞されました。



受賞おめでとうございます

第33回 肢体不自由児・者の美術展

*主催：社会福祉法人日本肢体不自由児協会 各都道府県肢体不自由児協会

・書道部門	優秀賞	中島光子	「夏・もうすぐ終わり」
	努力賞	斉藤修	「友達」
・絵画部門	優秀賞	江村克巳	「光陰如箭」
	努力賞	三輪彰信	「あじさい」
・デジタル写真部門	金賞	竹内ハル	「人生黄色」
	銀賞	井之川定信	「浮島」
	銅賞	福島クニ江	「ペランダから望む」
	〃	野上忠義	「静けさ」
	〃	江村克巳	「明日は晴れ！」
	〃	金沢フサ子	「温かくて、気持ちがいいなー。」



当センターの応募

書道	5点
絵画	9点
デジタル写真	7点

第13回 新潟県障害者芸術文化祭

*主催：新潟県障害者芸術文化祭実行委員会

・自由詩部門	県知事賞	石澤スミエ	「私の手」
	実行委員長賞	中島光子	「香りたつ」
・絵画部門	県知事賞	福島クニ江	「晩秋の秋」
	審査員特別賞	金沢フサ子	「ぼくガンバトルよ」

当センターの応募

書道	8点
絵画	9点
工芸	9点
デジタル写真	3点
共同創作	1点
自由詩	1点



福島クニ江様の作品



中島光子様の作品



金沢フサ子様の作品

自由詩で県知事賞を受賞された、石澤スミエ様の詩は広報紙「ふれあい第15号」に紹介されています。

11月23日（日）新潟ふれ愛プラザにて、受賞された方の表彰式がありました。自由詩で県知事賞を受賞した当センターの石澤スミエ様が、受賞者を代表し謝辞を述べることに！！今までも当センターからは上位入賞者が沢山出ましたが、謝辞を述べるのは初めてのこと。当然、石澤様も初めての経験で緊張したと思いますが、立派に大役を務めていました。



謝辞を述べる石澤スミエ様

秋季遠方外出

地域活動支援センター(II型)事業



・ほくほく線で行く湯沢駅の旅

10月10日

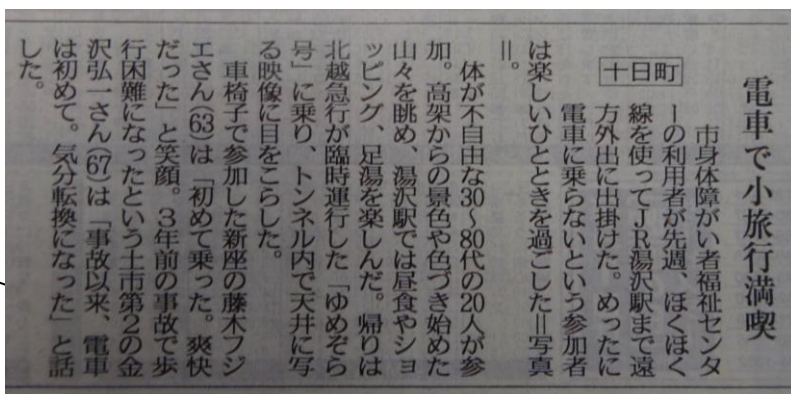


皆さん電車と一緒に記念撮影

当センター初めての企画。ほくほく線に乗り車窓からの景色を眺め、日頃のストレスを発散♪

電車に乗る機会がなかなかない利用者の皆さんは大喜び！！昼食は駅構内の「越後の国・豊作」様でそれぞれ食べたい物を注文し、その後買い物へ♪

帰りの号車は、北越急行様のご厚意により「ゆめぞら号」の体験をさせていただきました。更には車椅子の方々も安全に乗車できるよう配慮いただき、感謝・感謝の一日を過ごしました。



新潟日報の記者の方が取材のため、湯沢駅まで同行し利用者さんにインタビューを・・・緊張した様子で答えていました

10月18日の新潟日報に掲載されました



・ふれあいクラブ ほくほく線で行く六日町からの浦佐八色の森公園 9月28日



ふれあいクラブで、初となる電車でのお出かけ。社会適応訓練として自分の切符を券売機で購入し、いざ「ゆめぞら号」へ！

六日町までの短い区間でしたが天井に写し出された星座の映像に皆さん喜んでいました。電車の旅もいいねえ～♪

六日町では、お六の湯で景色を眺めながら足湯を体験。♫いい湯だなあ～なんて・・・

その後、マイクロバスに乗り換え浦佐八色の森公園へ。広い芝生の上で美味しいお弁当を食べたり、ボール遊びをしたりと、とても楽しい一日でした♥



「つどい」事業



平成 26 年 10 月 31 日（金）、十日町市身体障がい者福祉センター「つどい」事業を開催しました。今回は第 1 部に演芸ボランティアとして、谷矢暁子様・清水美恵子様・井之川五郎様・山岸悟様をお迎えし、♪竹田の子守り唄や雪の十日町♪などの歌声を披露していただき、第 2 部では、センター長と愉快的な職員達による出し物と題し、センター長が電子ドラム、職員がアコーディオンやらグロッケンでバンドを結成。そしてそして・・・美女・美声？職員二人の熱唱で、利用者の皆さんは大盛り上がりでした。その後、職員全員で「拝啓～十五の手紙～」を合唱し大拍手で締めくくりました。次回の「つどい」事業開催は、平成 27 年 1 月 30 日（金）の冬季利用者交流会との同時開催になります！！



ノリノリの職員

利用者もノリノリ



職員も練習時間がない中、自主練習を重ね見事な職員バンドのできあがり♡



演芸ボランティアの皆さんありがとうございました



センター利用団体のご紹介

身障センターでは、センター条例に基づいて地域の様々な団体の場としてご利用いただいています。今回は十日町肢体不自由児者父母の会様を紹介します。



十日町肢体不自由児者父母の会

会長 市沢 良子

障がいのある子供の会です。年齢も 10 代から 50 代と幅広く、心身に重度の障がいをもつ子供がほとんどです。会員は皆明るく元気が良く、集まるととても賑やかで毎日介護しているようには見えないと良く言われます。

年に一度の障がい者連絡協議の納涼会では親子で参加し、他団体の方々との交流を楽しんでいます。

私事ではありますが、息子は身障センターと長岡療育園（ケアステーション魚沼）に週 6 日お世話になっております。家の中まで迎えに来て下さったり、家庭の事情にもとても配慮していただいたりと、生活にも苦無く過ごさせていただいております。家族と一緒に出来るだけ長く生活をしていきたいと願っておりますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。